

プレスリリース

2011.11.14

＜ご参考＞ウォルマート、APEC域内の地域貢献に注力

以下は、ウォルマート・アジアが2011年11月11日（現地時間）に米国ハワイ州にて発表した英文リリースの抄訳です。

【2011年11月11日：米国ハワイ州発】ウォルマート・アジア社長兼CEOのスコット・プライスは、本日、APEC域内においてウォルマートが事業展開をしている地域での地域貢献活動に注力する方針を、改めて強調しました。プライスは、米国ハワイ州ホノルルで2011年11月11日から14日にかけて開催されているアジア太平洋経済協力会議（APEC）「CEOサミット」において、「ウォルマートは、その事業を展開している各地域において、特にAPEC圏内の地域においては大きな支援を実施しています。米国、中国、日本、メキシコ、そしてチリにおいては素晴らしい事例があります」と述べ、次のような談話を発表しました。

「ウォルマートは、米国では飢餓撲滅の一助として2015年までに20億USドルを拠出することを発表しました。また、中国においては、中国女性開発基金（China Women's Development Foundation: CWDF）との密接な協力関係の下、経済的に恵まれない女性たちへの支援に取り組んでいます。ウォルマートが支援しているダイレクト・ファーム（直接契約栽培）プログラムでは、80万戸以上の農家からの直接購入を実施し、生産者の増収と、お客様に対するより低価格な商品提供を実現しています。」

「日本では、震災による被災地への復興活動支援に取り組んでおり、ウォルマートとして500万USドルを寄付しました。これに関連して、「セーブ・ザ・チルドレン」（Save the Children）を通じた被災地域の学校等の教育環境の立て直し、および、「マーシー・コー」（Mercy Corps）を通じた被災地域のワカメ漁に従事する女性への支援という、2つの新たなプログラムを発表したばかりです。チリ地震後の支援についてもウォルマートは活発に活動しており、190万USドルの寄付を通じて各地での仮設住宅建設や小規模企業の再建に貢献しています。カナダでは、カナダ国内小児科病院への募金活動を展開するチルドレンズ・ミラクル・ネットワーク（Children's Miracle Network）の主要スポンサーとして、800万カナダドルを寄付しました。また、メキシコでは、周縁化地域や先住者グループの生産プロセスを後押しするトレーニングの実施や資金を提供し、その収入や生活の質を改善するという「地場産品商品化プログラム」への取り組みが、国連開発計画の「ワールド・ビジネス・アンド・ディベロップメント・アワード」を受賞しました。」

「大きな成果をあげるためには、政府、民間、そして非営利セクターとの間にしっかりとした連携が必要です。米国と中国には、その好事例があります。中国では、経済的に恵まれない女性たちを支援するという国の優先事項に対して、ウォルマートが、中国女性開発基金（CWDF）と緊密に協力することで大きな成果をあげています。このプログラムは、現在、本格的に遂行されており、既に実施されている3つの省では目覚ましい進捗が見られます。米国では、ウォルマートがミシェル・オバマ大統領夫人主導の『レッツ・ムーブ（Let's Move）』キャンペーンと連携し、より健康的な食品をより低価格で提供することに取り組んでいます。これにより、青果に関して年間約10億USドルを、お客様に節約していただくことが可能となります。」

最後にプライスは、「ウォルマートは、その事業を展開する地域の人々のより豊かな生活の実現に寄与することを望んでおり、そのために積極的に政府や非営利セクターと協働していきます」と結びました。

ウォルマート・ストアーズ・インクは、世界28カ国、69の店舗名で9,600以上の小売店舗を運営しており、毎週延べ2億人以上のお客様にご来店いただいております。世界中で2百万人以上の従業員を雇用し、2011年会計年度の売上高は4,190億ドルに達しました。ウォルマートは、全世界でサステナビリティや社会的慈善活動、雇用機会の提供のために様々な取り組みを積極的に実施しています。